

輝く先輩職員たち

入庁1年目職員インタビュー

■倉敷市の職員になったきっかけは？

福祉や観光、災害対策といった様々な面から倉敷市を捉え、誰もが暮らしやすいまちにしていけることができる、市職員の仕事に魅力を感じたからです。就職活動を始めた頃、認知症の方が「帰り道を教えて欲しい。」と家を訪ねてきたことがきっかけで、特に高齢者の方が安心して生活できるまちづくりについて、関心を持ちました。誰もが安心して生活でき、地域全体で支えていくまちづくりに携わりたいと思い、市職員を志望しました。

■仕事をしてみての感想は？

一番驚いたことは、問い合わせの多さです。私の所属している介護保険課の賦課収納係への問い合わせの多くは、保険料に関するものです。初めの頃は知識もなく、説明内容も不十分だったために「分かりにくい。」と言われることがありました。そこで、先輩方の姿を見習って、丁寧に話を聞き、より分かりやすい言葉で説明するようにしました。今までであった不安や疑問を解消していただけたときには、とてもやりがいを感じます。

■どんなことに気をつけて仕事に取り組んでいますか？

特に、目的意識を持って仕事に取り組むことを心がけています。「目的意識のない確認作業は時間の浪費」とは、手順を覚えることばかりに必死になっていたときに上司から教わった言葉です。私は、この言葉を機に、自分自身を見つめ直すことができました。

市役所の仕事は影響を及ぼす範囲が大きく、些細な失敗が取り返しのつかない事態を招くこともあります。ただ機械的に業務をこなすのではなく、目的は何か、そのための手段はこれで良いのかを自分自身で考え、責任を持って行動できる職員を目指しています。



入庁1年目・事務職

金重 麻美（介護保険課）

ある日の私の1日

- 8:00 登庁。机の周りの準備
- 8:30 始業・朝礼
所得照会書の作成及び発送
再交付の被保険者証発送
- 9:30 他市町村から送られてきた所得照会の結果の入力
- 12:00 昼休憩（同期職員と一緒に）
- 13:00 窓口業務（申請書の受付・保険料納付の相談・保険料の領収など）
- 17:15 終業
- 17:45 書類などの片付けをして退庁



入庁1年目・事務職

今木 瑛之（生涯学習課）

ある日の私の1日

- 7:45 登庁。始業の準備
- 8:30 始業。電話対応など
- 10:30 小学校を訪問（地域の方や教頭先生と、打ち合わせ）
- 12:00 昼休憩（同期職員と一緒に）
- 13:00 新成人に配付する冊子の編集
- 14:00 環境管理推進員の研修（職場の節電やグリーン購入の率先について学ぶ）
- 16:00 新成人に配付する冊子の編集
- 17:15 終業（引き続き、冊子の編集）
- 19:00 成人式実行委員と打ち合わせ
- 21:15 打ち合わせ終了後、退庁

■なぜ倉敷市職員を志望したのですか？

私は大学時代に、授業やサークル活動を通じて、地域のために活動をしているたくさんの方たちと知り合いました。その縁で、公民館のお祭りの手伝いや、子どもたちへの読み聞かせを頼まれたりするようになりました。地域のための活動をする方々と接しているうちに、自分も市民の方々の暮らしに深く関わりたいと思い、自治体の職員を志望しました。

倉敷市の出身ではありませんが、伝統や文化を大切にしているこのまちにとっても魅力を感じたのが、倉敷市を選んだ理由です。また、倉敷市役所で開催された職員採用説明会に参加した際に、先輩職員が生き生きと仕事をしているのが伝わってきて、とても雰囲気の良い職場だと思ったことも、大きなきっかけになりました。

■入庁前後でのギャップは？

現在、生涯学習課に所属しており、放課後子ども教室の推進や成人式の開催など、青少年に関わる業務を主に担当しています。入庁前は、『市職員の仕事はデスクワークがほとんど』という印象がありましたが、外に出る仕事が多いことに驚きました。

例えば、放課後子ども教室の様子を見るために、市内の小学校を訪問したり、新成人に配付する冊子づくりのために、新成人のボランティアと一緒に観光名所を巡って写真を撮ったりと、充実した毎日を送っています。

■どんなことに気をつけて仕事に取り組んでいますか？

何事にもチャレンジし、一つでも多くのことを経験し、身につけるよう心がけています。また、市民の方からの問い合わせが多いことについては、すぐにお答えできるよう、先輩に確認したり、過去の資料を読んで勉強したりしています。

これからも向上心を持って仕事をして、市民の方はもちろん、市役所の職員からも信頼され、安心して仕事を任せてもらえるような職員になりたいと思っています。